

〈日本 SPF 豚研究会誌〉

「All about SWINE」投稿のお願い

SPF 豚の普及に役立つ調査・研究論文および防疫、飼養、流通、消費等に関する解説・資料等の原稿を募集しております。下記要領にご留意の上、ご投稿下さい。

1. 原稿は原則としてワープロを使用してA 4用紙に横書きで作成して下さい。手書きの場合は、400字詰原稿用紙を使用して下さい。
2. 原稿の1枚目には表題（英文表題も併記）、投稿者名（ローマ字表記も併記）、所属機関名（郵便番号および住所）を記して下さい。2枚目以降の記述形式は特に定めませんが、資料等を引用した場合は末尾に「参考資料」または「引用文献」の項目を設けて下さい。
3. 表は原則として縦罫線を使用せず簡潔なものとし、また図はそのまま印刷が可能なように白色紙または方眼紙に黒色で記入して下さい。写真は原寸印刷が可能なように原則として横7cm程度、縦7cm以下として下さい。
4. 原稿の送付先は「〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 岐阜大学大学院連合獣医学研究科 応用獣医学連合講座 浅井鉄夫」までお願いします。

〔編集後記〕

とても暑い夏でした。本号の編集をしている中で、佐賀県で豚熱の発生がありました。今のところ、野生動物（イノシシ）の関与は否定的であること、4日間で200頭が斃死したなどの情報から、いろいろな憶測がささやかれています。

岐阜県のイノシシで豚熱ウイルスの感染が確認されてから、5年が経過しました。その間、豚熱感染は本州全域、四国へと広がっています。残念

ながら、イノシシにおける豚熱の制御は目途が立っていません。

COVID-19からの回復に伴い国内旅行や海外旅行、渡航者の増加など大きな変化が出てきています。本州の山には豚熱感染イノシシが元気に走り回っています。海外ではアフリカ豚熱が継続して広がっています。業界が一丸となって、防疫対策に注意しながら、様々な脅威に立ち向かっていく必要があります。

「All about SWINE」

第63号

2023年9月発行 定価1,500円
発行者 小林 秀 樹
編集者 浅 井 鉄 夫
発行所 日本 SPF 豚 研 究 会
事務局 〒305-0856
茨城県つくば市観音台3-1-5
国立研究開発法人 農研機構
動物衛生研究部門 内
Tel : 029 (838) 7722